



横浜市立桂小学校

桂小だより

KATSURA NEWS LETTER

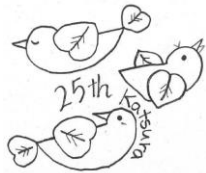
3月号

令和3年2月26日

Web: <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/katsura/>

学校についての詳細や学校生活についてはHPをご覧ください。

E-mail: y3katura@edu.city.yokohama.jp 桂小学校HPのQRコードはこちら→



おかしもすき

校長 寺澤 みゆき

東日本大震災が起こり、この3月11日で10年になります。この日が近づいてくるにつれ、新聞やテレビ番組の特集を目にすることが増えてきました。先月13日夜11時8分、東日本大震災の余震と思われる地震がありました。長く大きく揺れる地震に10年前のことが脳裏によみがえってきました。

震災が起こったその時、私は勤務していた学校の体育館にいました。5、6時間目の卒業式の練習が長引き、急いで6年生の子どもを教室へ送り出したところでした。体育館のハロゲン灯がゆらんゆらんと大振りに揺れ、ただ事ではないことが直感でわかりました。学校に残っていた子どもたちを校庭に避難させ、校舎を振り返ると屋上プールの脇から、雨どいから、大雨のように水が落ちてきていました。泣き叫ぶ子どもの顔とともに、あの光景は今でもはっきりと思い出すことができます。その夜、娘の友達を保護者が迎えにくるまでの2日間預かったこと、信号が消え、渋滞で幹線道路の交通が麻痺していたこと、連日、大災害の被害状況を繰り返し報道していたことも次々とよみがえっていました。保護者の方々や地域の皆様の中にも、当時のことを思い出すと胸が苦しくなる方もいらっしゃるかもしれません。もう二度と経験したくないと思う方もいらっしゃるでしょう。

残念ながら、人の力で地震が起きることを止めることはできません。しかし、日常の備えと教訓を生かした訓練を重ねることで、被害を最小限に抑え、自分や周りの人の命を守ることは不可能ではないでしょう。

本校でも、子どもが自分で自分の身を守る力をつける目的で、毎月1回、防災や防犯に関する避難訓練を実施しています。2月22日月曜日、今年度最後の避難訓練を行いました。今回は事前に予告をせず、なおかつ子どもが自由に移動する休み時間に実施しました。1年間積み重ねた知識を活用する訓練、いわば、自分で自分の身を守るための判断力を試す訓練です。

結果は前回の事前に告知した訓練に及ばず、やや緊張感に欠けるものとなってしまいました。

そこで、子どもが自分ごととして考えられるよう、「今月13日の地震があった時、自分の身を守る行動ができた人。」と問いかけてみました。すると、集合してきた時より、表情や目が真剣になってきたのを感じました。多くの子が頷き、その時の状況を呟く子もいました。「自分の身の安全を守った後は、安全な場所に避難をしなければいけません。」子どものつぶやきが増えました。「今まで避難訓練では、お、か、し、も、の約束を守るよう話してきましたね。今日は最後なので、さらに2つ付け足したいと思います。」真剣度が高まってきました。

そこで、「『す』、『き』を付け足したいと思います。『す』は『すばやく逃げる』『き』は『聞く』です。正しい情報を自分の耳で聞いて避難しないといけません。今回の地震は10年前の3月11日に起こった東日本大震災の余震だと言われています。だから、明日や明後日ではなく、もしかしたら今日この後、また地震が来るかもしれません。その時、『おかしもすき』の約束を守り、自分と友達の命を守る行動ができるようにしてください。」と、話をまとめました。（「お」押さない「か」駆けない「し」しゃべらない「も」戻らない「す」すばやく動く「き」聞く）

我が家でも、10年前にした発災後の集合場所やメッセージの残し方についての約束を、改めて確認しました。各ご家庭におかれましても発災時の約束を、ぜひお子様と話し合っただけいたらと思います。

保護者、地域の皆様のご理解ご協力のもと、令和2年度が終わろうとしております。感染予防のため、皆で力を合わせ、方法を変えることのできるだけの教育活動を行った一年でした。誠にありがとうございました。来年度もどうぞよろしくお願いいたします。